

こぶし

経営方針

権利擁護と意思決定支援を基本に、利用者の個々のニーズに沿ったサービスの質の向上に努めるとともに、安心・安全な生活の提供に努めます。

地域移行に向け、就労や生活について自己決定する力を育成し、希望する生活の実現を目指します。

地域生活を支援するため、関係機関と連携し、幅広いニーズに応じたサービスの提供とセーフティネットとしての役割を果たします。

■ こぶし

〔障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、短期入所）、日中一時支援事業〕

令和7年度【事業の重点項目】

1 安心・安全なサービスの提供と経営の安定

人権侵害自己チェック、虐待防止自己チェックを実施するとともに、毎月の虐待防止委員会の開催により、人権擁護、虐待防止の徹底を図ります。

高齢化による機能低下に伴い、利用者が安心して生活を送ることができるよう、グループ内の調整によるグループ内施設・事業所からの移動を進めるとともに、新規利用者の受入れを行います。

2 地域福祉の推進

在宅障がい者の短期入所の受入れや、精神科病院に入院中の方の体験利用を継続します。

地域生活を希望する利用者を中心に事業所見学や体験利用等を実施し、地域移行を支援します。

3 人材育成と働きがいのある職場づくり

多様な障がい特性とニーズに応じるため、職場研修やケース検討会を実施し、支援技術の向上に努めます。

業務内容の見直しや効率化を図り、時間外労働の削減、休暇取得推進など、ワークライフバランスに配慮した働きがいのある職場づくりを目指します。